

巨大惑星表層には、赤道域における緯度幅の広いジェットや中緯度域における緯度幅の狭いジェットから成る帯状構造、極域における渦構造が存在することが知られている。帯

スケード効果([?])によって,大気中の小規模乱流から形成される可能性がある.このような小規模乱流を引き起こす候補として,雷雲が考えられる(例えば,[?]).[?]はこの雷雲を想定した